

越境大気汚染防止に関する国際比較

目的 欧米において越境大気汚染の防止のための取り組みが成功した背景で、北東アジアの大気汚染防止の取り組みを比較し、検討する。

方法 越境大気汚染防止のために取り組んできた欧米地域の国際条約を取り上げ、次に、北東アジアの中日韓各国における大気汚染とこれに対する取り組みの現状を調査して各国の環境政策の特徴を分析し、欧米での成功した取り組みとの比較を行う。これらの調査・検討を通して、近い将来、北東アジア地域で、欧米地域のように越境型大気汚染問題を解決する取り組みを構築するための方策を検討する。

特徴 インターネットを利用して、各環境機構のHPをたずね、環境状況と環境対策を調べた。ならびに、個々の国情と経済状況をにらみ合わせて、比較を行った。

結論 これまで北東アジアでは越境大気汚染防止のために、各国がいろいろな対策を展開して努力していることが分かった。しかし、経済的格差が大きいアジアでは、環境政策の共通化が難しい。

二酸化硫黄排出量の計算式と各国の事例から、越境大気汚染に対して有効的な対策を図るには、開発中の中国だけではなく、大気汚染防止の大きな成果を出している日本と韓国の環境協力も非常に重要であると考えられる。